

PRESS RELEASE

ガルダ・インドネシア航空 プレスリリース

2013年3月14日

ガルダ・インドネシア航空

「ガルダ・インドネシア & リバプールFC エクスペリエンス」オープン

TYOGA-2-MARCH /13

ガルダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2月25日(月)ガルダ・インドネシア航空ギャラリー(所在地:ジャカルタ セナヤンシティ)内に、「ガルダ・インドネシア & リバプールFC エクスペリエンス」をオープンいたしました。

「ガルダ・インドネシア & リバプールFC エクスペリエンス」では、フェイスペイント用のメイク用品を完備した撮影ブースを設置し、リバプールFCのホームグラウンドであるアンフィールド・スタジアムにいるような雰囲気写真撮影を楽しむことができます。また、リバプールFCの公式グッズ販売を行っています。

ガルダ・インドネシア航空会社 社長兼最高経営責任者 エミルシャ・サタルは、リバプールFCとの提携により、グローバルエアラインとしてのさらなる飛躍を旨とすると共に、ガルダ・インドネシア航空のお客様へユニークなサービスをご提供することができて嬉しく思うと述べました。

ガルダ・インドネシア航空は、2012年9月にリバプールFCと、3シーズン(2012~2015年)にわたるパートナーシップ契約を締結。「グローバル・オフィシャル・エアライン」として自社運航路線の航空券をリバプールFCに提供しています。2013年中には、ガルダ・インドネシア航空とリバプールFCの共同ロゴがペイントされたA330-200型機が登場する予定です。



2013年2月25日
「ガルダ・インドネシア & リバプールFC エクスペリエンス」
オープニングレセプション(ジャカルタ、セナヤンシティ)にて
写真左から
ガルダ・インドネシア航空会社 社長兼最高経営責任者 エミルシャ・サタル
リバプールFC 国際ビジネス開発取締役 ジョナサン・ケイン氏
元リバプールフットボール選手 イアン・ラッシュ氏



ガルダ・インドネシア航空会社について:

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立1949年。1962年3月より日本への運航を開始し、2012年に日本就航50周年を迎えた。現在、成田・羽田・関空よりインドネシアへ週28便、直行便を運航中。2012年末現在、保有機体数は105機、平均機体年齢は5.8年。2012年の日本路線の定時運航率93.3%。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。東京(成田)・大阪発便では、機内にて到着ビザの発給と入国審査が完了する「機内入国審査プログラム」を実施中。さらに日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。2012年スカイトラックス社(英国の格付け会社)より「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」受賞。ロイモーガン(オーストラリア)より「ベスト・インターナショナル・エアライン(1月・2月・7月)」を受賞。2014年のスカイチーム正式加盟及びスカイトラックスの5スター認定獲得をめざす。

